

# 令和6年度 学校評価(保護者)集計

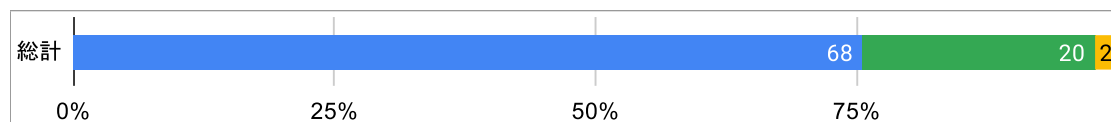
R7.2 北海道真駒内養護学校

- 【a】(よくできている、大変良い)
- 【b】(まあまあできている、良い)
- 【c】(あまりできていない、課題あり)
- 【d】(全くできていない、課題が大きい)

回答数:90

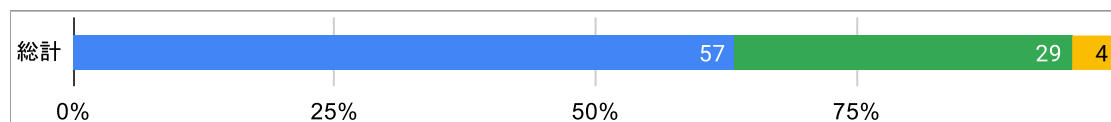
## ◎経営方針

児童生徒の安全・安心な学校生活を第一に、人権を尊重し尊厳を守る学校経営が推進されていますか。  
(健康、安全、体罰・いじめ防止など)

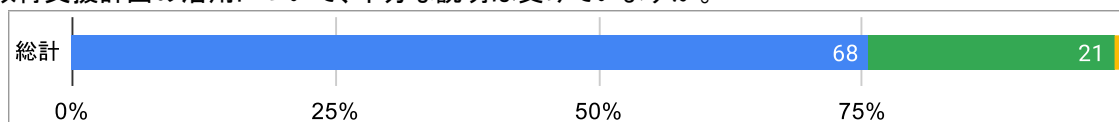


## ◎教育方針

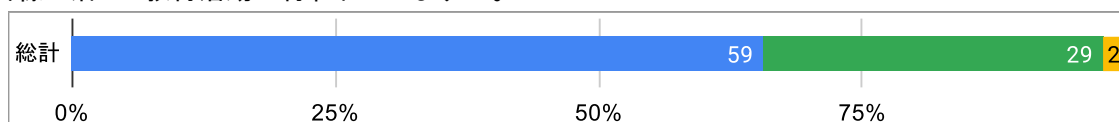
児童生徒一人一人の教育的ニーズを受け止め、確かな学力・生きる力を育む教育が推進されていますか。



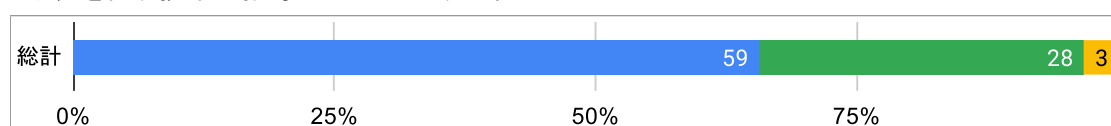
1 個別の教育支援計画の活用について、十分な説明は受けていますか。



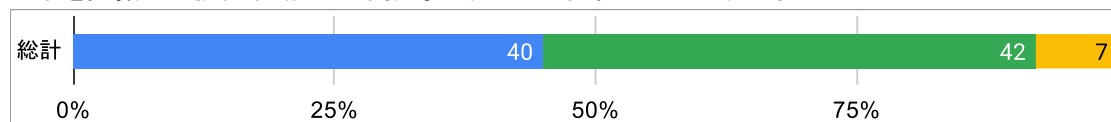
2 個別の目標に沿って教育活動が行われていますか。



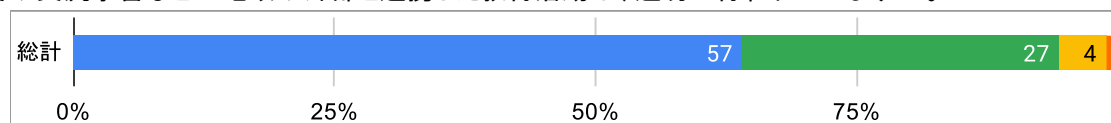
3 お子さんの成長を促す授業や指導となっていますか。



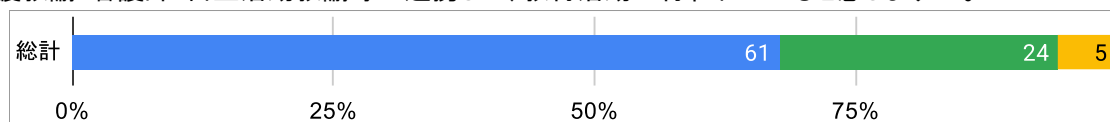
4 卒業後の生活を見据えた教育活動や進路指導は、適切に行われていますか。



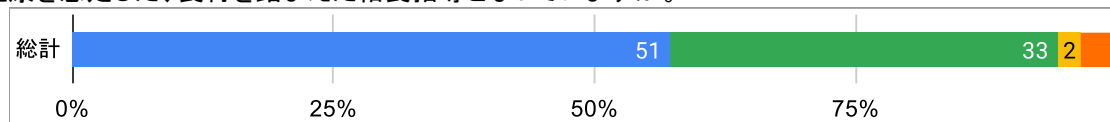
5 校外学習や交流学习などの地域や外部と連携した教育活動は、適切に行われていますか。



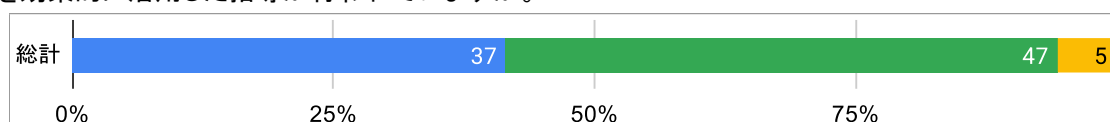
6 担任・養護教諭・看護師・自立活動教諭等が連携して、教育活動が行われていると感じますか。



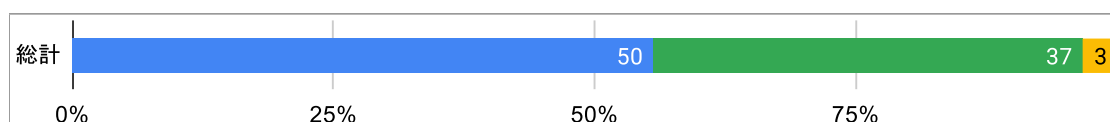
7 将来の健康を想定した、食育を踏まえた給食指導となっていますか。



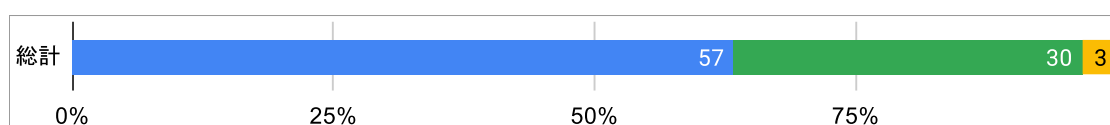
8 ICT機器を効果的に活用した指導が行われていますか。



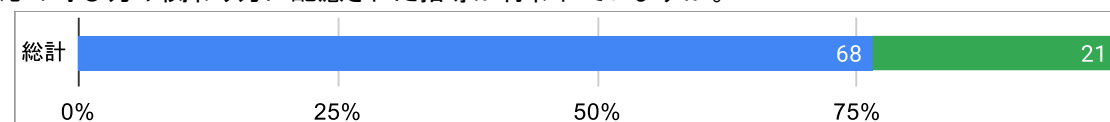
9 各教科や自立活動の指導、摂食指導や医療的ケアなど、専門性を発揮した指導や支援が行われていますか。



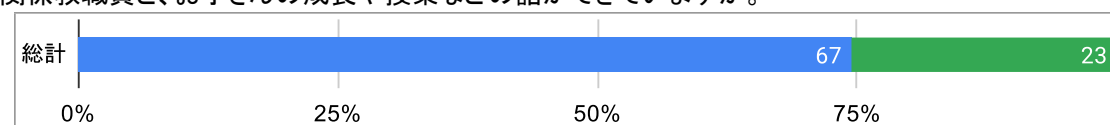
10 事故防止や感染症対策など、安全面や健康面の対応と再発防止への取組は十分行われていますか。



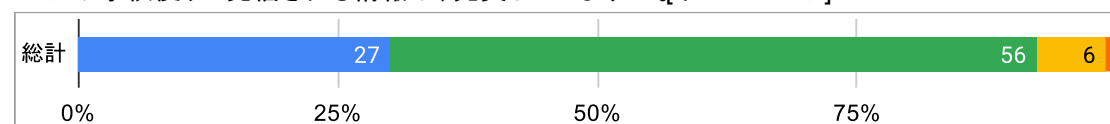
11 年齢相応の呼び方や関わり方に配慮された指導が行われていますか。



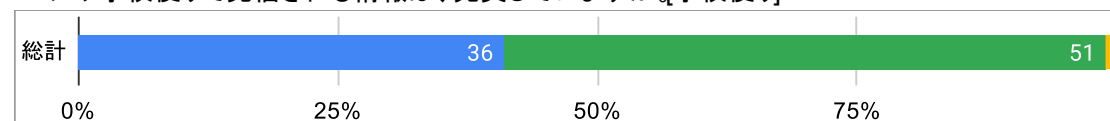
12 担任や関係教職員と、お子さんの成長や授業などの話ができていますか。



13 ホームページや学校便りで発信される情報は、充実していますか。【ホームページ】



13 ホームページや学校便りで発信される情報は、充実していますか。【学校便り】



## 【ご意見(生成AIによる要約)】

主な意見として、自立活動の情報共有、学校行事の時期変更、ICT機器の活用、医療的ケア児の支援、進路情報の提供、安全対策、学習環境の充実などが含まれています。

まず、自立活動に関しては、保護者が内容を把握する機会が少ないことが指摘されており、支援がどのように行われているか、どのような状態のときにどのような関わりがあるのかが分かりにくいとされています。先生方が書類で記録していることは理解しているものの、保護者には十分に伝わっていないこともあるため、職員の負担を増やさずに情報を共有する仕組みや機会があれば望ましいとされています。

次に、学校行事について、特に運動会の時期が兄弟児の通う小学校と重なるため、秋などに変更してほしいとの要望が出ています。また、保護者が参観できる機会の拡大を希望し、給食時間の参観も可能にしてほしいとの意見があります。

医療的ケア児の支援に関しては、学校職員や看護師、関係者の尽力に感謝しつつも、通学時の支援について進展がないことを懸念する声があります。昨年、教育委員会や学校関係者と話し合いの場が設けられ、福祉タクシーへの看護師同乗が試験的に実施されると聞いていたが、その後の進展がないため、医療的ケア児が他の生徒と同じように通学し、教育を受ける権利を保障してほしいとの要望が述べられています。

ICT機器の活用についても強い要望が出ています。特に視線入力 of 時間確保については、すでに取り組んでくれていることに感謝しつつ、iPadタッチャーの活用を日常的にできるよう工夫してほしいとされています。重度の障害がある児童の卒業後を考えると、ICT機器の活用が重要であり、専門家による指導の機会があると望ましいとの意見もあります。

進路情報については、早いうちからどのような選択肢があるのかを知りたいという声があります。例えば、学習の成果によって進学先の選択肢が変わるのか、体調が変化した場合に受け入れてくれる学校はどこなのかなど、具体的な情報が得られるとありがたいとされています。進路について本人とじっくり話す機会を設け、保護者としてもできることがあれば動きたいという考えが示されています。

学習環境に関しては、図書室の蔵書を充実させることや、地域学習をより多く実施してほしいという希望が述べられています。また、札幌市の「おとどけアート」事業に学校として応募し、子どもたちの可能性やチャンスを広げる機会を設けてほしいという意見もあります。

安全対策に関しては、特にオムツ交換時の移乗について懸念の声が上がっています。担任の先生が一生懸命対応してくれていることは理解しているものの、現在の状況ではバランスを崩した際に転倒の危険があると指摘されています。ただし、オムツ交換時に教員を二人配置することまでは望んでおらず、代わりにオムツ交換ベッドの高さを調整し、教員の体格に合わせた環境を整えることで、安全性を向上させてほしいという要望が出されています。

最後に、教師間の情報共有が十分でないことが時折あると指摘されており、忙しいことは理解しつつも、改善されることを望んでいるとの意見が述べられています。

全体を通して、保護者は学校や先生方の努力に深く感謝している一方で、より良い教育環境を作るための具体的な改善点を提案しています。情報共有の仕組みを整えること、医療的ケア児の支援の充実、ICT機器の活用促進、学習環境の改善、安全対策の向上など、学校全体の体制をより良くするための前向きな意見を多くいただいています。